



## お殿様のお屋敷って どんなのかな？

今回は、蒲形陣屋について紹介  
します。陣屋とは、城を持たない  
大名や旗本が、自分の藩を治める  
ための藩庁（現在の市役所にあたる）  
を置いて屋敷の事を指します。

江戸時代、蒲郡の中心部を治め  
たのは、竹谷松平家でした。竹谷  
松平家は、松平宗家から一番古く  
に分かれた分家です。その名の通  
り、戦国時代には市内の竹谷町に  
ある竹谷城を本拠地としていまし  
た。関ヶ原の戦い後の1612年、  
5千石を拝領して蒲形に入り、陣  
屋を構え、以降江戸時代を通じて  
この地を治めました。場所は現在  
の銀座通りと蒲郡高校の間あたり  
になります。

6月にその蒲郡高校南側の住宅  
地内で発掘調査を行いました。期  
間は1週間、面積も80㎡ほどでし



発掘調査風景

たが、大雨に降られて現場がプ  
ールのようになるなど大変な調査で  
した。それでも、今の地面の70（  
80センチ下からは、溝やピット（柱  
の穴）が多数見つかりました。ピッ  
トは等間隔に並び、直角に曲がっ  
た場所もあったので、長屋や小屋  
の可能性が考えられそうです。  
陣屋というと、高山陣屋などが  
有名ですが、城に比べ保存される  
事が少なく、痕跡が残るものは多  
くありません。そんな中、実は蒲  
形陣屋は建物が一部残っています。  
博物館東側の高麗門、これはかつ  
ての大手門でした。銀座通りの十  
王堂付近にあったもので、現地に  
は石碑が建っています。

## 恐竜、盛りだくさん！

「古代の生物」といえば、何を  
思い浮かべますか？ アンモナイト  
や三葉虫などは昔から有名ですが、  
最近では、当館で展示しているカ  
ンブリア紀の生物たちもかなり知  
られてきているようです。ピカイ  
アやアノマロカリスの実物化石を  
前に「これ、知ってる！」という  
声を聞くと、とても嬉しくなりま  
す。

しかし、人気の古生物というと  
やはり恐竜でしょうか。恐竜には  
多くの人々の目を輝かせてしまう、  
不思議な魅力がありますね。当館  
では、史上最大級の肉食恐竜・テ  
イラノサウルスの巨大な足や歯、  
そして2頭の恐竜が格闘している  
まま保存された珍しい化石を展示  
しています。恐竜の格闘化石は、  
1971年にモンゴルのゴビ砂漠  
で見つかったもので、2頭の恐竜  
の力強い戦いの様子を今に伝えて  
います。化石をよく観察してみら  
ると、肉食恐竜のヴェロキラプトル  
がもつ後脚の大きなかぎ爪が、相  
手の腹部に蹴り込まれています。  
そして、頭の後ろにフリルをもつ  
植物食恐竜のプロトケラトプスは、  
くちばしで相手の腕に噛み付いて  
いるのです。

この恐竜たちが生きていた当時、  
ゴビ地域の気候は乾燥し、砂丘が

広がっていました。砂丘の崩壊や、  
砂嵐に巻き込まれたと考えられる  
化石が、同じ地域から多く見つか  
っています。ドラマチックな瞬間  
を切り取ったようなこの格闘化石  
のひとつと考えられています。  
さて、10月の当館には、恐竜に  
関する催しが盛りだくさんです！  
講演会やワークショップ、特別展  
を通じて、恐竜について楽しく学  
んでみませんか。

秋もイベント盛りだくさんの生  
命の海科学館へ、ぜひ遊びに来て  
くださいね！



格闘する恐竜の化石

